

## 1 普及活動 Educational Activities

### 1-1 資料の収集及び図書館の公開 Acquisition of Non-Film Materials and the Library

平成20、21年度に続いて、ゆまに書房の刊行により、戦前期の重要な映画雑誌である「キネマ週報」を復刻し、すべての刊行が完了した。今回復刻される259冊のうち本年度内には第6回と補遺篇の配本として224号から345号までのうち46冊の原本提供を行った。

#### ①収集活動

収集件数 3,619件

#### ②図書館公開活動

公開日数 214日

公開件数 33,451件(和書29,264件/洋書4,187件)

入室者数 3,347人

公開請求件数 1,076件

複写利用数 1,506人(17,919枚)

### 1-2 学校や社会教育施設への幅広い学習機会の提供 Aid for Research and Study

#### ◆「カルト・ブランシュ～期待の映画人・文化人が選ぶ日本映画～」

内 容：「カルト・ブランシュ」は2年目を迎えた。若い観客層の開拓を目的として、最前線で活躍中の映画監督や文化人がフィルムセンターの日本映画コレクションから自由に作品を選定し、上映と解説を行った。

期 間：平成22年7月16日(金)、7月21日(水)、7月24日(土)

共 催：エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社  
びあ株式会社

開催場所：東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール

解 説：7月16日(金) 僕たちをとときめかすエンターテインメント

『独立愚連隊西へ』(1960年、岡本喜八監督)

石井裕也監督と真利子哲也監督がセレクト、対談解説

7月21日(水) 忘れがたい日本のファンタジー

『愛の亡霊』(1978年、大島渚監督)

種田陽平美術監督がセレクト 聞き手：船曳真珠監督

7月24日(土) 演出とは？俳優を見つめるとは？

『翔んだカップル』(1980年、相米慎二監督)

諏訪敦彦監督と吉田光希監督がセレクト、対談解説

参加者数：183人

開催場所：小ホール

#### ◆特別映写観覧による職能教育研修会等への協力

実施件数：9件(全93件中)

参加者数：計620人

◆小中学高等学校・大学の授業等への協力

実施件数：7回

参加者数：計64人

◆研修等への協力

実施件数：9件

参加者数：計70人

1-3 児童生徒を対象とした事業 Projects for Children and Young Students

◆「こども映画館 2010年の夏休み」

内 容：9回目を迎えた「こども映画館」では、本年も職員による解説や弁士・伴奏付きの無声映画上映、施設見学等を組み合わせるスタイルを踏襲しつつ、子どもたちが日常のテレビやDVD等では接する機会を持ちにくい映画遺産に触れる機会を設けた。

実施回数：4回（平成22年8月6日（金）、8月7日（土）、8月13日（金）、8月14日（土））

参加者数：322人

会 場：小ホール

## 1-4-1 講演会・シンポジウム Lecture / Symposium

## ①ユネスコ「世界視聴覚文化遺産の日」記念特別イベント

「講演と上映 3D映画の歴史」

実施日：平成22年11月6日(土)

開催場所：大ホール

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

参加者数：357人

講師：シュテファン・ドレスラー(ミュンヘン映画博物館ディレクター)

ユネスコ「世界視聴覚文化遺産の日」(10月27日)を記念するイベント事業の第3回目として、ミュンヘン映画博物館ディレクターのシュテファン・ドレスラー氏を講師に招き、世界映画史に現れた3D映画の抜粋映像を、最新のデジタル3D技術でスクリーン上に再現しながら、それぞれの技術や背景を解説する講演会を開催した。

## ②EUフィルムデーズ2010

実施日：平成22年5月29日(土)

開催場所：東京国立近代美術館フィルムセンター

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

参加者数：106人

ゲスト：矢田部吉彦(東京国際映画祭プログラミング・ディレクター)  
 ヤン・ブダジュ(『ブルノの退屈』脚本・作曲・俳優)  
 アルベルト・カレロ・ルゴ(ラテンビート映画祭プロデューサー)  
 スティーヴン・サラザン(カイエ・デュ・シネマ特派員)  
 勝田友巳(毎日新聞学芸部)  
 赤坂大輔(映画評論家、「New Century New Cinema」主宰)

## ③日本—南アフリカ交流100周年記念 シネマアフリカ2010

「アフリカー日本 映画フォーラム」

実施日：平成22年11月13日(土)

開催場所：小ホール

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

参加者数：32人

ゲスト：エリック・カベラ(映画監督・プロデューサー)  
 ジハン・エル・ターリ(映画監督)  
 シルベストル・アムス(映画監督)  
 ソロメ・ゲリマ(プロデューサー)  
 テンデカ・マタツ(プロデューサー)  
 羽仁進(映画監督)  
 井関惺(プロデューサー)

## ①企画上映「フィルムセンター開館40周年記念① 発掘された映画たち2010」

開催回数：11回

開催場所：大ホール

ゲスト：平成22年5月11日7:00pmの回	板倉史明（フィルムセンター 研究員）
平成22年5月14日7:00pmの回	八尋義幸（福岡市総合図書館 映像資料課主任学芸主事）
平成22年5月15日1:00pmの回	八尋義幸
平成22年5月15日4:00pmの回	森脇清隆（京都府京都文化博 物館主任学芸員）
平成22年5月16日0:00pmの回	佐藤武（広島市映像文化ライ ブラリー主任）
平成22年5月16日4:00pmの回	富田美香（立命館大学映像学 部准教授／マキノ・プロジェ クト代表）
平成22年5月21日7:00pmの回	太田米男（大阪芸術大学芸術 学部教授／玩具映画プロジェ クト代表）
平成22年5月22日0:30pmの回	太田米男
平成22年5月22日3:30pmの回	江口浩（川崎市市民ミュージ アム映画担当）
平成22年5月23日1:00pmの回	石原香絵（映画保存協会代表）
平成22年5月23日4:00pmの回	榎木章（フィルムセンター主 任研究員） 松本俊夫（『銀輪』監督）

参加者数：1,430人

## ②企画上映「EUフィルムデーズ2010」

開催回数：3回

開催場所：大ホール

ゲスト：平成22年5月29日11:00amの回	ヤン・ブダジュ（『ブルノの退 屈』脚本・作曲・俳優）
平成22年5月30日5:00pmの回	小林俊道（メカス日本日記の 会）
平成22年6月3日3:00pmの回	小林俊道

参加者数：662人

## ③共催上映「第32回びあフィルムフェスティバル」

開催回数：34回

開催場所：大ホール

ゲスト：平成22年7月15日6:45pmの回	若松孝二（監督） 寺島しのぶ（俳優） 大西信満（俳優）
------------------------	-----------------------------------

平成22年7月16日6:45pmの回	萩上直子(監督)
平成22年7月17日11:00amの回	北川仁(監督)
	天野千尋(監督)
平成22年7月17日1:45pmの回	小林岳(監督)
平成22年7月17日4:15pmの回	田崎恵美(監督)
	廣原暁(監督)
平成22年7月17日6:45pmの回	森岡龍(監督)
	山内崇寛(監督)
平成22年7月18日11:00amの回	勝又悠(監督)
平成22年7月18日1:30pmの回	Yoshino(監督)
	堀内博志(監督)
平成22年7月18日4:15pmの回	片岡翔(監督)
	阿部綾織(監督)
	高橋那月(監督)
平成22年7月18日6:45pmの回	山川公平(監督)
	ショーン・ウォーカー(製作)
平成22年7月20日6:45pmの回	若松孝二(監督)
	瀬々敬久(監督)
平成22年7月21日6:45pmの回	鈴木卓爾(監督)
	吹石一恵(俳優)
	宮藤官九郎(監督)
平成22年7月22日6:45pmの回	浅野晋康(監督)
	鈴木卓爾(監督)
	矢口史靖(監督)
平成22年7月23日0:15pmの回	瀬々敬久(監督)
	忍城修吾ほか7名(俳優)
平成22年7月23日6:45pmの回	若松孝二(監督)
	阪本順治(監督)
平成22年7月24日3:15pmの回	イ・サンウ(監督)
平成22年7月24日6:00pmの回	イ・サンウ(監督)
平成22年7月25日11:00amの回	山村浩二(監督)
平成22年7月25日2:15pmの回	平林勇(監督)
平成22年7月25日5:30pmの回	若松孝二(監督)
	石井岳龍(監督)
平成22年7月27日1:15pmの回	片岡翔(監督)
	阿部綾織(監督)
	高橋那月(監督)
平成22年7月27日4:00pmの回	山川公平(監督)
	ジェームズ・マクフェイ(監督)
平成22年7月27日6:45pmの回	北川仁(監督)
	天野千尋(監督)
平成22年7月28日1:15pmの回	森岡龍(監督)
	山内崇寛(監督)
平成22年7月28日4:00pmの回	田崎恵美(監督)
平成22年7月28日6:45pmの回	勝又悠(監督)
	奥田庸介(監督)
平成22年7月29日1:15pmの回	堀内博志(監督)

平成22年7月29日4:00pmの回 庭月野議啓(監督)

小林岳(監督)

平成22年7月29日7:00pmの回

吉田光希(監督)

参加者数：4,118人

④企画上映「映画監督五十年 吉田喜重」

開催回数：6回

開催場所：大ホール

ゲスト：平成22年10月5日3:00pmの回

吉田喜重(監督)

平成22年10月6日7:00pmの回

岡田茉莉子(俳優)

平成22年10月9日3:20pm～

吉田喜重(監督)

平成22年10月16日3:00pm～

蓮實重彦(映画評論家)

平成22年10月23日3:00pm～

青山真治(監督)

平成22年10月30日3:00pm～

岡田茉莉子(俳優)

参加者数：1,324人

⑤企画上映「生誕百年 映画監督 黒澤明」

開催回数：4回

開催場所：大ホール

ゲスト：平成22年11月20日1:30pm～

上田正治(撮影)

小泉堯史(監督)

出目昌伸(監督)

紅谷愼一(録音)

野上照代(元黒澤組スタッフ)

平成22年12月18日1:40pm～

香川京子(女優)

加藤武(俳優)

仲代達矢(俳優)

野上照代(元黒澤組スタッフ)

平成22年12月25日5:00pmの回

伊寄充則(俳優)

平成22年12月26日4:00pmの回

野上照代(元黒澤組スタッフ)

参加者数：1,072人

⑥企画上映「現代フランス映画の肖像—ユニフランス寄贈フィルム・コレクションより」

開催回数：1回

開催場所：大ホール

ゲスト：平成23年1月9日1:00pmの回

マチュー・アマルリック(俳優)

参加者数：310人

⑦共催上映「日本インディペンデント映画史シリーズ③ ぴあフィルムフェスティバルの軌跡 vol.3」

開催回数：1回

開催場所：小ホール

ゲスト：平成22年7月17日3:00pmの回

川合晃(『IKKA：一和』監督)

参加者数：11人

- ⑧共催上映「日本—南アフリカ交流100周年記念 シネマアフリカ2010」  
 開催回数：11回  
 開催場所：小ホール  
 ゲスト：平成22年11月13日11:00amの回 ジハン・エル・ターリ(監督)  
 平成22年11月13日4:40pmの回 シルベストル・アムス(監督)  
 平成22年11月14日10:30amの回 テンデカ・マタツ(プロデューサー)  
 平成22年11月14日1:30pmの回 エリック・カベラ(プロデューサー)  
 平成22年11月14日4:00pmの回 ソロメ・ゲリマ(プロデューサー)  
 平成22年11月16日1:00pmの回 ジハン・エル・ターリ(監督)  
 平成22年11月16日7:30pmの回 エリック・カベラ(監督)  
 平成22年11月18日8:10pmの回 エステファノス・アフェウォルキ(駐日エリトリア大使)  
 平成22年11月21日10:30amの回 ダウイット・ギルマ(監督)  
 平成22年11月25日6:30pmの回 シェリフ・ケイタ(監督)  
 参加者数：775人

#### 1-4-3 ギャラリートーク Gallery Talk

①「映画資料でみる 映画の中の日本文学 Part 3」

- 開催回数：2回  
 開催場所：展示室  
 講師：平成22年4月17日 田中眞澄(映画史家・文化史家、本展覧会監修者)  
 平成22年5月22日 田中眞澄  
 参加者数：43人

②「アニメーションの先駆者 大藤信郎」

- 開催回数：3回  
 開催場所：展示室  
 講師：平成22年7月3日 おかだえみこ(アニメーション研究家)  
 平成22年7月24日 津堅信之(京都精華大学准教授、アニメーション史研究家)  
 平成22年8月28日 山村浩二(アニメーション作家)  
 参加者数：162人

③「生誕百年 映画監督 黒澤明」

- 開催回数：3回  
 開催場所：展示室  
 講師：平成22年10月30日 田草川弘(ノンフィクション作家、『黒澤明vs.ハリウッド』著者)  
 平成22年11月13日 上島春彦(映画研究家、『血の玉座』著者)  
 平成22年12月11日 槇田寿文(黒澤明研究家・資料収集家)  
 参加者数：148人

## ◆インターンシップ

受入期間 6月～9月(4ヶ月間)  
 実施場所 フィルムセンター  
 参加人数 1名(事業推進室・情報資料室)  
 事業内容 映画文化に関心を持つ人材の専門的知識及び技術の向上を図り、主体的な職業選択能力や職業意識、勤労観を育てることを目的として、フィルムセンターにおける実務研修を実施

## ◆博物館実習

受入期間 平成22年8月24日～8月28日(5日間)  
 実施場所 フィルムセンター  
 参加人数 15名  
 事業内容 講義・館内見学・映画資料整理

## ◆特別映写観覧による大学等への協力

実施件数 93件(351本)

## ◆国立美術館内での連携

京都国立近代美術館との連携  
 「NFC所蔵作品選集 MoMAK Films@home」  
 期 間：平成22年6月19日(土)、20日(日)  
           8月21日(土)、22日(日)  
           10月9日(土)、10日(日)  
           12月4日(土)、5日(日)  
           平成23年2月11日(金)、12日(土)  
 会 場：京都国立近代美術館  
 参加者数：638人

## 国立国際美術館との連携

「第1回中之島映像劇場 美術と映像：戦前から戦後へ」  
 一東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品による上映会一  
 期 間：平成23年3月26日(土)、27日(日)  
 会 場：国立国際美術館  
 参加者数：340人

## ミュージアムショップでのフィルムセンター刊行物の販売

「戦後フランス映画ポスターの世界  
 東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵《新外映コレクション》より」  
 カタログ  
 ※カタログ販売委託先 5件  
 (東近美1件、西美1件、新美3件)



2-1 カタログ



□「第32回ぴあフィルムフェスティバル」(共催者)

発行日：平成22年7月15日

責任編集：荒木啓子

編集：片岡真由美



□「日本ポルトガル修好通商条約150周年

ポルトガル映画祭2010

マノエル・ド・オリヴェイラとポルトガル映画の巨匠たち」(共催者)

発行日：平成22年9月17日

編集：一般社団法人コミュニティシネマセンター、  
アテネ・フランセ文化センター、三浦哲哉



□映画祭「シネマアフリカ2010」公式カタログ(共催者)

発行日：平成22年11月12日

編集：シネマアフリカ実行委員会

発行：東京国立近代美術館

編集：東京国立近代美術館フィルムセンター



□平成22年度優秀映画鑑賞推進事業  
鑑賞の手引

29.7×21cm／4p

編集：東京国立近代美術館フィルムセンター、一般社団法人コミュニティシネマセンター

発行日：平成22年6月25日



□展覧会出品目録・ガイド(4回)  
「映画資料でみる 映画の中の日本文学  
Part3」出品リスト

22.5×10cm／12p

発行日：平成22年4月6日



□「アニメーションの先駆者 大藤信郎」  
出品リスト

22.5×10cm／8p

発行日：平成22年6月29日



□「生誕百年 映画監督 黒澤明」  
出品リスト

22.5×10cm／8p

発行日：平成22年9月17日



□「フィルムセンター設立40周年企画  
展示室リニューアル記念  
NFC映画展覧会の15年 1995-2010」  
出品リスト

22.5×10cm／8p

発行日：平成23年2月8日



□ジュニアセルフガイド  
「NFCコレクションでみる 日本映画の歴史」

17.5×12.8cm／12p

発行日：平成22年2月8日

2-3 NFCカレンダー等 NFC Calender and Flyers

2-3-1 NFCカレンダー NFC Calender

29.7×21cm

大ホール上映作品解説／上映スケジュール



□2010年4月号  
映画の中の日本文学Part3  
6p



□2010年5月号  
発掘された映画たち2010  
6p



□2010年6月号  
EUフィルムデーズ2010  
4p



□2010年7-8月号  
フィルムセンター開館40周年記念②  
フィルム・コレクションに見るNFCの40年  
8p



□2010年9月号  
日本ポルトガル修好通商条約150周年  
ポルトガル映画祭2010  
マノエル・ド・オリヴェイラとポルトガル映画の巨匠たち  
4p



□2010年10月号  
映画監督五十年 吉田喜重  
4p



□2010年11-12月号  
生誕百年 映画監督黒澤明  
6p



□2011年1-2月号  
現代フランス映画の肖像—ユニフランス寄贈フィルム・コレクションより  
6p



□2011年3月号  
フィルムセンター開館40周年記念③  
よみがえる日本映画—映画保存のための特別事業費による  
4p

29.7×21cm



映画資料でみる  
映画の中の日本文学 Part3  
2p



アニメーションの先駆者  
大藤信郎  
2p



生誕百年 映画監督  
黒澤明  
2p



NFCコレクションでみる 日本映画の歴史/  
フィルムセンター設立40周年企画  
NFC映画展覧会の15年 1995-2010  
2p

29.7×21cm

(ア)フィルムセンター発行



□《京橋映画小劇場 No.18》  
映画の教室2010  
2p



□日本インディペンデント映画  
史シリーズ③ びあフィルム  
フェスティバルの軌跡 vol.3  
4p



□カルト・ブランシュ  
～期待の映画人・文化人が  
選ぶ日本映画～  
2p



□《京橋映画小劇場 No.19》  
アニメーションの先駆者  
大藤信郎  
2p



□《京橋映画小劇場 No.20》  
アンコール特集：2009年度  
上映作品より  
2p



□ユネスコ「世界視聴覚遺産の  
日」記念特別イベント  
講演と上映 3D映画の歴史  
2p



□日本-南アフリカ交流100周年記念  
シネマアフリカ2010  
4p

(イ)共催者発行



EUフィルムデーズ2010



第32回びあフィルムフェスティバル



日本ポルトガル修好通商条約150周年  
ポルトガル映画祭2010  
マノエル・ド・オリヴェイラ  
とポルトガル映画の巨匠たち

2-3-4 こども映画館 Publicity Flyers / Kids☆Cinema

29.7×21cm



こども映画館  
2010年の夏休み  
2p

29.7×21cm/16p

発行・著作：独立行政法人国立美術館／東京国立近代美術館

編集：東京国立近代美術館フィルムセンター



- 90号(2010年4月-5月号)  
 フィルムセンター開館40周年  
 特集1：映画の中の日本文学 Part 3  
 特集2：発掘された映画たち2010  
 発行日：平成22年4月1日



- 91号(2010年6月-7月号)  
 フィルムセンター開館40周年  
 特集1：アニメーションの先駆者 大藤信郎  
 特集2：ぴあフィルムフェスティバルの軌跡 vol.3  
 発行日：平成22年6月1日



- 92号(2010年8月-9月号)  
 フィルムセンター開館40周年  
 特集1：コレクションに見るNFCの40年  
 特集2：ポルトガル映画祭2010  
 特集3：アニメーションの先駆者 大藤信郎  
 発行日：平成22年8月1日



- 93号(2010年10月-11月号)  
 特集1：映画監督五十年 吉田喜重  
 特集2：生誕百年 映画監督 黒澤明  
 発行日：平成22年10月1日



- 94号(2010年12月-2011年1月号)  
 特集：生誕百年 映画監督 黒澤明  
 発行日：平成22年12月1日



- 95号(2011年2月-3月号)  
 特集1：現代フランス映画の肖像  
 特集2：よみがえる日本映画  
 特集3：NFCコレクションでみる日本映画の歴史  
 発行日：平成23年2月1日

- (ア)上映会のためのハンドアウトの発行 92～100号(9部)
- (イ)その他の印刷物



- 「キネマ週報」復刻版  
(ゆまに書房刊／原版提供及び監修)  
27cm／B5版  
25巻(補遺1)～27巻(補遺3)  
※以下、続刊



- 全国映画資料館録  
20.9×14.8cm／36 p  
編集：東京国立近代美術館フィルムセンター  
発行日：平成22年8月31日



事業関連の情報を提供する「NFCメールマガジン」は着実に登録者が増えている。またNFCD（フィルムセンターデータベース）については、ウェブ化開始以来の懸案であった人物データのコンバートの完了に向けて作業を進めている。また、フィルムセンター図書閲覧室にある検索用端末で、FIAFデータベース（世界の映画雑誌やアーカイブのコレクションに関する情報を収録）とJSTOR（米国非営利公益法人の提供による学術雑誌アーカイブ）という2つの電子ジャーナルを公開した。

また、映画関連資料へのアクセス希望に対しては、図版提供をすみやかに行うためにデジタル・データの形で提供する傾向が定着しているが、これまでにデータ化された写真等の画像を円滑に活用するため、共有ファイル内に設けた「画像集積所」のさらなる充実を目指した。